

授業科目 言語聴覚障害総合演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
吉岡 豊 他		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 言語聴覚業務で用いる諸検査をもとに報告書を書き、治療計画を立案する能力を身につける。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 成人言語障害者に関する言語検査の結果を使用する。 2. 成人言語障害者に関する諸検査の結果をもとに治療計画を設定する。 3. 高次脳機能障害者に関する諸検査の結果を使用する。 4. 高次脳機能障害者に関する諸検査の結果をもとに治療計画を設定する。 5. 摂食・嚥下障害患者に関する諸検査の結果を使用する。 6. 摂食・嚥下障害患者に関する諸検査の結果をもとに治療計画を立案する。 7. 聴覚障害、小児言語発達障害児に関する諸検査の結果を使用する。 8. 聴覚障害、小児言語発達障害児に関する諸検査の結果をもとに治療計画を立案にする。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	成人言語障害者に関する検査の結果をまとめる 1。			1	
2	成人言語障害者に関する検査の結果から治療計画を立案にする 1。			2	
3	成人言語障害者に関する検査結果をまとめる2。			1	
4	成人言語障害者に関する結果から治療計画を立案にする2。			2	
5	高次脳機能障害者に関する検査の結果をまとめる 1。			3	
6	高次脳機能障害者に関する検査の結果から治療計画を立案にする 2。			4	
7	高次脳機能障害者に関する検査の結果をまとめる 2。			3	
8	高次脳機能障害者に関する結果から治療計画を立案する 2。			4	
9	摂食・嚥下障害者に関する検査の結果をまとめる 1。			5	
10	摂食・嚥下障害者に関する検査の結果から治療計画を立案にする 1。			6	
11	摂食・嚥下障害者に関する検査の結果をまとめる 2。			5	
12	摂食・嚥下障害者に関する検査の結果から治療計画を立案にする 2。			6	
13	聴覚障害、小児言語発達障害に関する検査の結果をまとめる。			7	
14	聴覚障害、小児言語発達障害に関する検査の結果から治療計画を立案にする。			8	
15	まとめ			1～8	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		他専門科目で指定されているテキストを使用する。			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
演習なので 4/5 以上の出席を前提とする。成績評価はレポート提出50%、定期試験50%とする。					